

* * イ カ ナ ゴ 情 報 No.1 * *

サイズはまだ小さく、初漁時期は5月初めか

— 島牧沖の漁期前調査結果 —

中央水産試験場
後志南部地区水産技術普及指導所

調査の概要

平成25年4月21日午後7～9時に、西島牧海域においてコウナゴ分布調査を実施しました。白糸岬沖から元町沖にかけての5地点で、集魚灯を用いて、たも網でコウナゴ採集を行いました。この調査は、第八喜久丸中山雄一さん、島牧漁協及び島牧村役場の方々と共同で実施しました。調査にご協力いただいた関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

漁期前半に漁獲対象となる群は現在12～14mm

調査日の海況は概ね良好で、すべての調査点でコウナゴ標本を採集できました。調査時の表面水温は、白糸岬沖が8.0℃で他は7℃以下（平均6.85℃）と、全体的に低い傾向がありました。

下図は、調査で採集されたコウナゴを測定して得られた体長組成です。今回の調査では体長12～14mmのサイズが主体となりました。これまで同時期に行った調査では、体長16～17mmサイズが主体となる傾向がありましたので、今回の調査で採集されたコウナゴは、かなり小さい印象を受けました。この12～14mmサイズ群が漁獲適正サイズ(22-23mm)に達するのは、一日の成長量を0.7mm程度とすると、あと2週間程度を要することになります。したがって、本格的な漁期開始時期は5月初めと、例年よりやや遅めとなることが予想されます。

低水温の傾向が今後も続くなら、漁期開始がさらに遅れる可能性もある一方で、既に20mm近くにまで成長しているコウナゴも採集されていることから、月末を目安に出漁し分布状況をご確認いただくのが望ましいと考えられます。初漁期の漁獲物標本に基づいた見通しを、第2報にて情報発信する予定ですので、ご協力よろしくをお願いします。

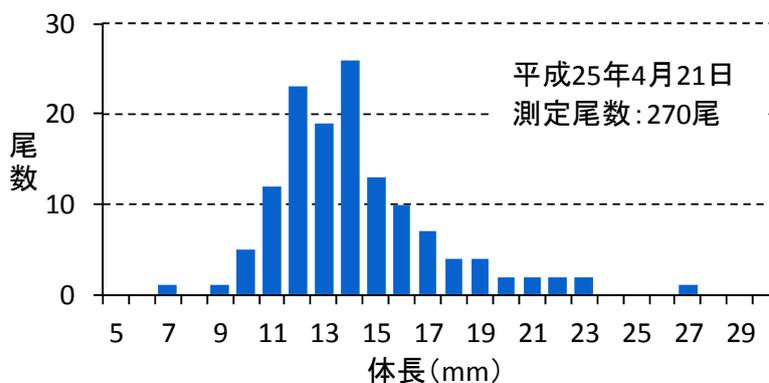


図 調査で得られた標本の体長組成

お問い合わせ
中央水試資源管理部:0135-23-8707
後志南部水産指導所:0135-62-0087